

# 5人制サッカーを知ろう!

5人制サッカーは、別名「ブラインドサッカー」としても知られる視覚に障がいのある選手が行う競技。ピッチの大きさはフットサルと同じで、1チーム5人。フィールドプレイヤー4人(全盲～光覚)とゴールキーパー1人(晴眼もしくは弱視)がプレーします。ゴール裏には、ガイド(コーラー)が1

人居て、ボールや相手選手、ゴールの位置などを選手に伝えます。試合は、前後半20分ハーフの計40分。「音が鳴るボール」を使い、ピッチの両サイドに「サイドフェンス」があるのが特徴。選手は、ボールの音やガイド・監督・選手の声、フェンスを頼りに状況を把握し、プレーします。



### 選手とボール

選手はアイマスクとヘッドギアを装着。ボールを追いかけるときは、追突を避けるため「ホイ！」と声を出します。ボールは「シヤカシヤカ」と音が鳴ります。

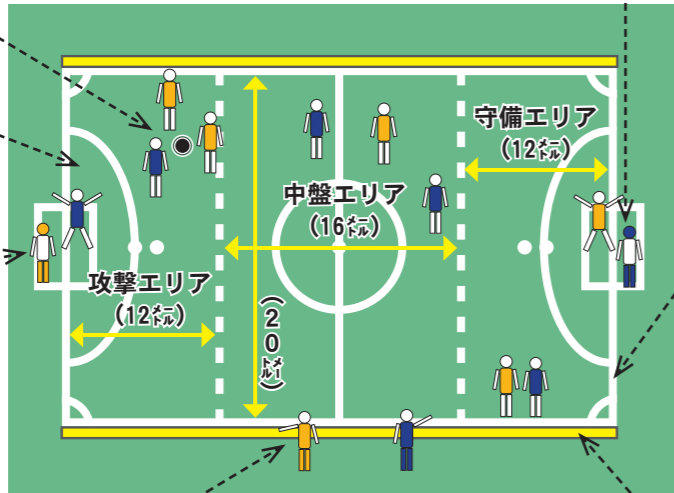


### ゴールキーパーエリア

キーパーは、幅5.16m、奥行き2mの範囲内でのみボールを触ることが可能。守備エリアにボールがあるときは選手に情報を伝えることができます。

### ペナルティエリア

このエリア内で反則すると、相手にPKが与えられます。



### エンドライン

ボールがエンドラインを割った場合、コーナーキックまたは、キーパーのボールになります。

### ガイド(コーラー)

攻撃エリアにボールがあるとき、ゴール裏から「45度、4m、シュート!」などとゴールの位置や距離などを具体的に教えます。フリーキック時には、ゴールポストをたいたて位置を教えます。



### 監督

中盤エリアにボールがあるときは、声を出して選手に指示できます。



### サイドフェンス

高さ1mの壁。触れて自分の位置を確かめながら、パスやトラップ、激しいボールの奪い合いを繰り返します。

# 「特集」南米の友

フォルサ ブラジル ~がんばれ ブラジル~

東京2020パラリンピック競技大会に向けて、同大会の5人制サッカーに出場する南米「ブラジル代表チーム」が本市で事前合宿を行いました。



# ようこそ遠野へ

## 5人制サッカー 世界王者が遠野で合宿

来年夏、東京を舞台に開かれる世界最大のスポーツの祭典、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会(以下、東京パラ大会)。

東京パラ大会に向けて、世界王者ブラジル代表チームが7月4日から17日の14日間、本市で事前合宿を行いました。同代表は、パラリンピック競技大会5人制サッカーで4連覇を遂げ、東京パラ大会では5連覇を目指す世界最強チームです。

本市を訪れたのは、選手10人と監督やスタッフ6人。合宿は、日本でのコンディショニング確認や生活に慣れることなどを目的に実施。市国体記念公園市民サッカー場や市民センターのトレーニングルームなどで東京パラ大会に向けた調整を重ねました。

## 大会4連覇中の世界王者 南米ブラジル代表との交流

ブラジル代表選手たちは、日本の真裏に位置する南米ブラジルから飛行機やバスなどを乗り継ぎ、約40時間かけて来日。4日、宿泊先のあえりあ遠野に着いた選手たちを、市民ら約100人が歓迎しました(写真1~3)。

東京パラ大会のホストタウン、共生社会ホストタウンの登録を受けている本市は、同代表と市民のさまざまな交流を展開。市内の小中学校の訪問やパラスポーツ体験会、市民との交流会など、多くの市民が選手と過ごす時間を楽しみました。また、練習会場では、中学・高校生と市民ボランティアが交流を深めながら選手をサポートしました。14・15日には、同代表と5人制サッカー日本代表チームの練習試合が行われ、両日ともブラジルが勝利。観客は、想像を超える5人制サッカーの迫力とテクニックに息を魅了され、世界王者のプレーに魅了されました。

## ブラジル代表との14日間

- 7月4日 遠野着・歓迎式
- 5日 練習
- 6日 練習、歓迎交流会
- 7日 練習、バラスポーツ体験会
- 8日 練習
- 9日 練習、観光(宮古市へ)
- 10日 練習、遠野東中・遠野西中生徒と交流
- 11日 練習、文化体験交流(青笹小)
- 12、13日 練習
- 14、15日 ブラジル代表と日本代表の練習試合(2試合)
- 16日 練習、遠野中生徒と交流、お別れパーティ
- 17日 市役所表敬訪問、帰国

## ブラジル代表合宿メンバー

### チーム代表

シウヴァ・セルジオ・アレシャンドレ

### 監督

ヒベイロ・デ・ヴァスコンセロス・ファビオ・ルイス

### 選手

デ・ラセルダ・ゴンサウヴェス・ルアン  
ソアレス・ドス・サントス・ジョルダン  
ソウザ・ハモス・ダミオン・ホビソン  
チョピ・デュンボ・マウリシオ  
ダ・シウヴァ・チアゴ  
ダ・バイション・バホス・グレジソン  
カルヴァリオ・ヴァレンテ・マックスウェル  
ヴィエイラ・ソアレス・ジャルジエル  
アウヴェス・メンデス・ハイムンド・ノナト  
ドス・サントス・メンデス・マイコン・ジュニオール

### コーチ・スタッフ

コスタ・ソウザ・ジョジナウド  
ナルチ・ウジオニ・エデュアルド  
バルボザ・デ・フレイタス・アレクソン  
マシャド・アランテス・マルセロ



9\_ 激しく競り合うブラジル選手(左)と日本選手 10\_ 士気を高めるブラジルチーム 11\_ ゴールを決めたジャルジエル選手 12\_13\_ 迫力あるプレーの数々やフェンス際の攻防に目が離せない 14\_ 笑顔あふれるブラジルと日本の両代表選手ら。試合はブラジルが2戦2勝

# 世界王者ブラジルと 過ごした日々。



1\_ ブラジル代表と遠野高生徒ら 2\_ ブラジル国歌を斉唱する遠野西中生徒と選手 3\_ サッカー場では遠野中生徒らが選手を歓迎 4\_ 遠野東中でピアノを演奏するマウリシオ選手 5\_ 共生社会ホストタウン大使のキティちゃんも歓迎に駆け付けた 6\_ トレーニングルームで汗を流す選手 7\_ 遠野東中生徒の温かい見送りを受ける選手たち 8\_ 青笹小6年生が伝統芸能・青笹しし踊りを披露

## ブラインドサッカー凄い!

シュートもドリブルも凄かった! 来年の大会は、ブラジルと日本両方に勝ってほしいです。  
左上から/鈴木泳伊くん(遠野小4)、滝浦翔磨くん(遠野北4)、滝浦愛菜さん(5歳)、滝浦煌磨くん(遠野北2)

## 経験を伝えていきたい



小嶋 日紀音さん  
(遠野高1年)

バラスポーツは、誰でも一緒に楽しめる競技がたくさん。体験会や合宿ボランティアで経験したことを大切に、たくさんの人に伝えていきたいです。

## 貴重な交流をありがとう



菊池 隼了さん  
(遠野東中3年)

障がいという言葉にとらわれず、平等に接することが大切だと感じました。選手のプレーに驚き、明るさと優しさに触れ、忘れられない交流になりました。

## 手を繋ぎ、腕を組む



石原 旺季さん  
(遠野西中3年)

言葉は分からなくても、声を掛け、手や体を寄せ合うことでサポートできることを学びました。明るく陽気な選手に、日本人とは違う優しさを感じました。

## 違うのは「言葉」だけ



及川 花さん  
(遠野中3年)

コミュニケーションの大切さを実感しました。違うところは言語だけ。困っている人がいたら、どんな時でも誰でも、積極的に手を差し伸べたいです。

## 緊張したけど、楽しかった



馬場 陽紀くん  
(青笹小6年)

ブラインドサッカーは、真っ暗で怖かった。選手は前が見えなくても正確なパスが出せてすごい! 緊張したけど、一緒にサッカーができて楽しかったです。

## Interview

### いつか、「おもてなし」のお返しを



チーム代表

シウヴァ・セルジオ・アレシャンドレさん

合宿では、選手の時差や日本の環境への適応力を確認できました。遠野で過ごした日々は、日本の「おもてなし」という言葉を実感させてくれました。皆さんのマナーの良さや人を敬う姿、礼儀正しく純粋な子どもたちが好きです。いつか、「おもてなし」のお返しができればと思っています。

### 最適な合宿地でいい準備ができた

ブラジル代表監督

ヒベイロ・デ・  
ヴァスコンセロス・  
ファビオ・ルイスさん



目が不自由な選手にとって、静かでのどかな環境が重要。遠野はブラジルに似た環境で、練習設備も良く、必要なものが整っているベストな場所でした。皆さんの親切で気配りの利いたサポートを受け、東京2020大会で勝つための良い準備ができました。心から感謝しています。

### 自分の家に居るような日々



ブラジル代表  
フィールドプレイヤー

ダ・シウヴァ・チアゴ選手

長時間の移動は疲れたけど、温かい歓迎に疲れが吹き飛びました。遠野は、気候やホテル、練習環境など過ごしやすく自分の家にいるようでした。ごはんもおいしかったです。楽しかったことは学校訪問。子どもたちと一緒にプレーできて、ますます日本が好きになりました。



10-11\_児童生徒からの寄書きと千羽鶴が贈られました 12\_選手たちと交流した児童は目を輝かせていました 13\_カップ(カリン・くるりんちゃん)との出会い 14\_一緒に過ごした日々は、固い絆を生み出した 15\_お別れパーティーで記念撮影

1\_市内中学校では選手とさまざまなゲームを通じて交流しました 2\_選手との交流に笑顔があふれました 3\_陰で合宿を支えた市民ボランティア 4\_選手のテクニックは驚きの連続 5\_交流を深めるファビオ監督と生徒 6\_ブラジルチームへの応援を短冊に込めました 7\_通訳として合宿を支えた佐々木夫妻(右) 8\_サンバのリズムでダンス! 9\_サッカーを通じて交流が広がりました

### 東京2020オリンピック聖火リレー 岩手県聖火ランナー募集開始!

応募方法や要件、選考方法など詳細は、ホームページを確認ください。

- 公募人数 33人
- 申込期限 8月31日(土)
- 問い合わせ 岩手県聖火リレーランナー応募受付事務局・コールセンター(☎0570-550340)

聖火ランナー募集 岩手

14日間の交流から  
私たちが受け取るメッセージ

ブラジル代表と過ごした14日間。言葉や文化の違いを知り、お互いを尊重し合いながら交流を深めました。私たちは、今回の経験から何を学ぶことができたいでしょうか。

心と街のバリアフリー化を進めて、誰もが住みよいまちづくりを目指す共生社会ホストタウン。本市は県内で唯一、国から同ホストタウンの認定を受けました。合宿期間中は、ブラジル選手たちとスポーツや文化体験などを通じて交流する機会を数多く持つことができました。また、子どもたちは合宿の前に、5人制サッカーを体験。ブラジルの暮らしや文化、公用語のポルトガル語も学び、障がいや異文化への理解も深めました。

今回、サッカーを通じて同代表チームと出会い、新たな絆が生まれました。選手たちは遠野市民の心のこもった「おもてなし」への感謝と再会を誓い、17日、帰路につきました。来年の再会に期待を膨らませ、交流は続いていきます。

ありがとうとうらぶらぶら。